



蜂ヶ岡中だより

京都市立蜂ヶ岡中学校
校長 滕原 雅美
2月号



先週はうっすらと雪が積もるほど寒さでした。インフルエンザも流行りだし、全市的にも学級閉鎖の学校も増えてきました。感染症を予防するには「手洗い」です。また、どうしても閉め切ってしまいがちですが、休み時間を利用して教室の換気、湿度を保てるように絞ったぞうきんをかけるなど工夫をお願いします。受験や学年末テストに向けて無理をしてしまうこともありますかも知れませんが、当日、万全の体制での臨むためにも、規則正しい生活を心がけてください。

始業式でも「あっという間に3学期が終わってしまう」と話していましたが、もう1ヶ月が経ちました。3年は進路関係で大忙しだったと思います。来週末の私学入試、続いて公立前期選抜と緊張感が続くと思いますが、計画をたてて取り組んでいってください。2年では学年集会が行われ次年度の修学旅行の行先について発表がありました。あるクラスの学級通信でも「蜂ヶ岡中学校として行動することになります。日頃の生活がこの修学旅行にも出てきます。学校生活を見直していこう」とありました。年度のまとめとともに次年度の行事に向けて動き始めます。次のステップアップのための準備や最高学年として、先輩として、自分が目指す姿をイメージしていきましょう。でも、心構えとしてわかってはいても何からという人も多いかもしれません。そんなときは「自分にとっても、周りの人にとっても、過ごしやすい場になっているか?」を少し考えてもらえたならなと思います。

入試関係

いよいよ、本番です。当日、力を発揮するためにも今から体調管理を心がけましょう！

☆私学入試 2月10日(土)～2月12日(月・祝)
発表：入試後随時
★公立前期選抜 2月15日(木)(一部16日(金)まで)
発表：2月22日(木)



百人一首大会

百人一首大会の練習が始まっています。なかには50枚を超える枚数を取れる人もいるとか。すごいです！「この1枚だけは！」と目の前の札を死守する姿もありました。「ちはやふる～」しかすぐには出できませんが、本番が楽しみです。

1年科学センター学習

1月12日(金)、1年は科学センター学習に行きました。クラス毎に、実験講座(化学・生物・物理・地学の分野の一つ)と、プラネタリウム学習、展示学習です。生物では“コオロギ”。苦手な人は落ち着くまで時間が必要だったとか、好きすぎて見つめ合っていたとか(学級通信より)。

いろいろあった学習ですが、何よりもセンターの先生から、熱心に学習している様子がよかったですとお褒めの言葉があつたそうです。

中学校では「理科」という教科の中で4つの分野を学習しますが、将来、一つの分野を徹底的に追及していく人が現れるかもしれませんね。



～3月の主な行事（予定）～

3月 1日(金)・4日(月)・5日(火)	おはようDay	18日(月)	1年球技大会(1・2限) 2年球技大会(3・4限)
4日(月)	生徒会委員会(年度最終)		公立中期選抜検査合格発表
6日(水)	公立中期選抜検査事前指導	19日(火)	令和5年度修了式
7日(木)	公立中期選抜検査	25日(月)	公立後期選抜検査
	8組 お別れ校外学習	27日(水)	公立後期選抜検査合格発表
8日(金)～14日(木)	3年卒業前行事	28日(木)	令和5年度離任式
12日(火)	3年生を送る会(1・2限)		
15日(金)	第74回卒業証書授与式		

3年生 面接練習

進路を拓け！

1月24日(水)に3年生の面接練習が行われました。事前に志望理由や中学校生活のこと、高校でどのように過ごしたいか、高校卒業後の進路等、準備をしていましたが、やはり緊張するものです。「面接」という場面を経験してきた人もいるかもしれません、大人でもなかなか慣れないものです。



そこで、少し先の話になりますが、実際に企業はどのような人材を求めているのかを、ある企業の採用担当者に、「企業が求める人材は?」「中学生に伝えるとしたら?」と聞いてみました。例えばということで、日本の大学に通つて日本で働くことを希望している留学生向けの説明会での内容を紹介していただきました。

◎採用時に期待することは?

「まず、新人に期待することとして、【人材活性化の役割】です。」

(人材活性化とは、そのはつらつとした姿勢や態度で先輩社員が触発され、また斬新な着想や向う見ずな行動力などにより得られること)

◎実際に面接のときにどのようなところを見ていますか?

「学生に『私たち(企業側)が、どのようなところを見ていると思うか』を問い合わせながらの回答の例です」

1.自分(企業側の面接担当者)以上の何かを持っているかどうか

2.目力

(人物をひとつの生命体として捉えるためオーラと言い換えられます。目力がある学生は、それなりの理由=実績がある)

3.理解力(質問を正しく理解できているか。時にピントのはずれた答えあり)

4.表現力(同上)

5.主体性(エピソードから確認)

6.協調性(同上)

7.自社(その組織)で活躍できそうか

8.化ける可能性(本人も気づいていない可能性)

「これらを、書類や能力&特性テスト、面接などを通じて確認します。特に、面接では、20年足らずの学生生活の中で、どのような創意工夫を行い自らを磨いてきたかや価値観などを確認します。

8つも言えないかもしれない、採用とは組織にとって最も高い投資であることに触れています。

生涯賃金が約2億とも3億とも言われている人財を採用するわけなので4億以上稼いでくれる可能性のある人財を採用しようとしています。」

◎学生時代にやっておいた方がいいことは?

「この質問は、毎年、学生からも『学生時代にやっておいた方がいいことは?』と聞かれます。

決まって、学生時代に“もうこれ以上できない!”というくらい精一杯何かに取り組んでおいてください。と答えています。分かりやすくするために“経産省が2006年に定義づけた3つの能力の図”などを利用し、説明しています。(省略)」

◎精一杯取り組むことで何がわかりますか?

「何かに精一杯取り組んだ経験や実績があれば社会人になってからの困難にも立ち向かえる基礎体力があると考えています。何かを徹底的にすることには困難や苦労が伴います。そして、それを乗り越える方法を考え実行する経験も同様にしているはずです。それゆえ、その後に喜びも経験していると考えています。」



中学生のみなさんにとっては少し先の話かもしれません、社会で求められる人材を企業側からとして紹介しました。これからたくさんの選択をして、自分が進む道を歩みます。自身の成長のために日々の学校生活を充実させてほしいと思います。【なりたい自分に向かって挑戦しつづける生徒】です。